

草木に話しかけるカウイ



✎ Ursula Nafula
👤 Jesse Pietersen
📄 Aiko Komatsu
🗨️ 日本語
🗂️ ja



Global Storybooks

globalstorybooks.net

草木に話しかけるカウイ

✎ Ursula Nafula
👤 Jesse Pietersen
📄 Aiko Komatsu



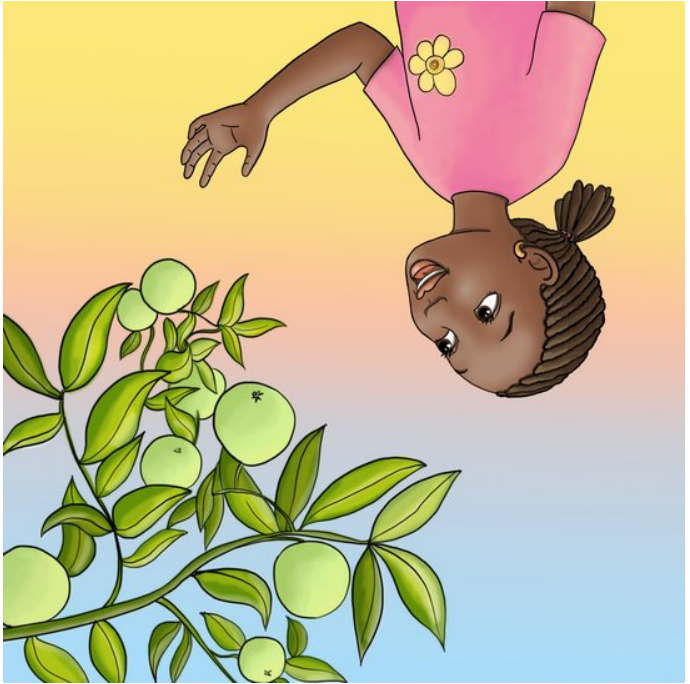
This work is licensed under a Creative Commons
[Attribution 4.0 International License](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0).
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0>





この子はカライ、7歳の女の子です。カライの名前はカライの国の言葉のブクス語で「良いもの」という意味です。

カウイは起きるとオレシツの木
に話しかけます。「お願い、オ
レシツの木。大きく育て、私
たちにたくさんのお熟れたオレシ
ツをちょうだいな」





カライは学校まで歩いて行きます。歩きながら、カライは草に話しかけます。「お願い、草たち、もっと濃い緑になってね。カラカラに乾いたりしないでね」



「オレンジの実はまだ青いわ」と、カライはため息をつきます。「また明日ね、オレンジの木さん」とカライは言います。「多分その時には私のために熟したオレンジを用意してくれるわよね！」

クライは野の花のそばを通りま
す。「お願い、花たち、ずっと
咲いていてね。私が髪に飾れる
ように」



クライは学校から家に帰ると、
オレンジの木のところへ行き訪
ねます。「オレンジの木さん、
あなたの実は熟れたかしら？」
とクライは尋ねます。





学校では、カライは校庭の真ん中にある木に話しかけます。

「お願い、樹木さん、枝を大きく広げてね。私たちが木陰で本を読めるように」



カライは学校の周りをめぐる生け垣にも話します。「お願い、強く育ててね。悪い人たちが中に入ってくられないように」